

妊娠がわかったら、お口の健康にも気をつけましょう！

○妊娠中は、女性ホルモンが増えることでそれを好む歯周病菌が増加しやすくなります。また、だ液の分泌量が減ったり、つわりなどの気分不良により歯みがきがおろそかになることでむし歯や歯周病になるリスクが高くなります。

妊娠性歯肉炎



(歯肉の状態)

色：赤っぽい

形：丸くぶよぶよしている

出血：あり

放っておくと悪化して、歯周病になる可能性があります。
ご自分のお口の中も鏡でチェックしてみましょう！



対策

◇だらだら食べはできるだけ控える

◇『食べたら歯みがき』や『こまめなうがい』を心がける

◇つわりの時期も、気分の良いときを見計らって念入りに歯みがきをする（小さめの歯ブラシを使用するとみがきやすい）など

妊婦歯科健診を受けましょう

◎今治市では、妊婦歯科健診を実施しています。

(妊娠中に1回無料で受けることができます)

妊娠中はむし歯や歯周病になりやすくなっている上に、これらの初期症状に自分から気づきにくいものです。また出産前後は歯科医院に行くことが難しくなります。つわりが治まって体調が安定してくる妊娠中期（妊娠5ヶ月～7ヶ月）に歯科健診を受け、治療が必要な場合は出産前に済ませておきましょう。



妊娠中の歯科受診

Q & A

Q. レントゲンを撮っても大丈夫ですか？

A. 通常の歯科治療での放射線量はわずかで、撮影するのは口の中だけなので子宮から離れているため心配はいりません。また、被曝を防ぐ鉛入りのエプロンを着けます。

Q. 麻酔は赤ちゃんによくないのでは？

A. 通常の歯科治療で使う麻酔薬の量はわずかなので影響ありません。ただし、以前（非妊娠時）にも歯科麻酔でトラブルがあったというような場合は、事前に歯科医に申し出ましょう。